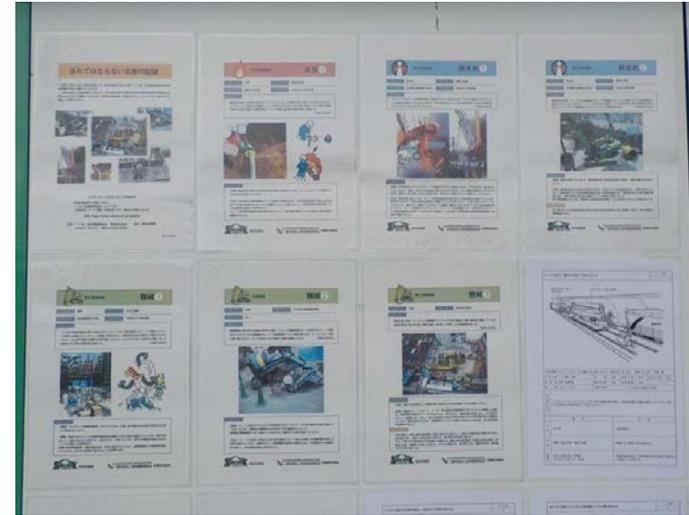




朝礼会場



災害事例一覧の一部

シート工事でずり台車が逃走し、切羽付近で作業員が犠牲された

シートNo. 2

工事の種類	2-2	トンネル(シールド)建設工事	発生年月	平成24年4月(火)	時刻	16:40	天候	晴
死者の型	7	はさまれ、巻き込まれ	年齢	52歳	経験年数	18年	致死日数	104日
転倒物	223	軌道装置	誘発回数	2次	免状種類	民間		
職種	18	トンネル工	災害時の作業		搬送作業			

災害発生状況

標準搬送作業完了後、シールド坑内で2号車から1,000m付近で地盤設備(パイクーム)を点検しながら切羽に向かって歩いていたら、坑口側から下り勾配を逸走してきたずり台車に轢かれた。

要因	対策
人的 選具・機械等の取扱い 台車側の連結不良 下り勾配への認識不足	パツァリローの後押し運転時に、脱線装置と坑口の鎖を念入りに点検する。 指定された担当者で、チェックリストを用いて連結ピンと連結チェーンの接続状況を確認する。
物的 防止設備の欠陥・未設置	乗物の下り勾配側に逸走防止装置を設置する。 切羽付近の軌道に台車ストッパーを設置する。
管理的 安全指示の内容不足・未実施	パツァリローのそばは連結ピンと連結チェーンを設置した後、ずり台車を停止させた後、走行を確認し、連結が完了であることを確認する。

災害事例詳細